

令和6年度 日本水産増殖学会 第22回大会 プログラム

期間 令和6年11月29日（金）～11月30日（土）

場所 受付・第1会場：沖縄タイムスビル タイムスホール
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2丁目2-2
第2会場：那覇商工会議所 中小企業振興会館 2階ホール
〒900-0033 沖縄県那覇市久米2丁目2-10
懇親会場：ホテルオリオン那覇
〒902-0067 沖縄県那覇市安里1丁目2-21

【プログラム概要】

11月29日（金）

8:30～ 受付（沖縄タイムスビル）お間違いのないようお願い申し上げます
9:00～12:15 口頭発表（第1会場及び第2会場）・ポスター発表（タイムスギャラリー）
12:15～14:15 昼休み
ポスターのコアタイムを13:00-14:00とします。
14:15～17:15 口頭発表（第1会場及び第2会場）・ポスター発表（タイムスギャラリー）
19:00～21:00 懇親会（ホテルオリオン那覇）

* ホームページでご案内していた会場とは異なります。

* 懇親会場にて学生・若手優秀賞発表を行います。

11月30日（土）

8:30～ 受付（沖縄タイムスビル）
9:00～11:00 日本水産増殖学会シンポジウム（第1会場）
11:30～12:30 高校生発表（沖縄タイムスビル タイムスギャラリー）
12:30～13:00 表彰式（第1会場）
13:30～ エクスカーション

その他

評議員会 11月29日（金）12:00～13:00（第1会場）

企業展示 大会期間中（第1会場）

【会場までの交通案内】

沖縄タイムスビル（受付、第 1 会場、ポスター会場）：

最寄り駅：沖縄都市モノレール県庁前駅

横断歩道を渡って、国道 58 号線方面へ歩いてください。



那覇商工会議所 中小企業振興会館（第 2 会場）：

最寄り駅：沖縄都市モノレール県庁前駅

沖縄タイムスビル前の横断歩道を渡り、左に曲がってまっすぐ進んでください(5 分以内)。QR コードで沖縄タイムスビル从那覇商工会議所への順路がわかります。



<https://nahacci.com/access/>

ホテルオリオン那覇（懇親会場）：

最寄り駅：沖縄都市モノレール牧志駅

国際通りを安里方面（会場と反対側）に 20 分程度歩いてください（20 分）

<https://orionhotel.co.jp/naha/access/>



【大会参加費】

無料

【懇親会参加費】

事前申し込み 6,000 円（学生は無料）

当日受付 7,500 円

***受付時は混み合うことが予想されるため、お釣りの無いようにご協力をお願い申し上げます**

***また、混雑していて受付時のお支払いが難しい場合は、大会お手数ですが期間中に再度受付にお越しただいてお支払いください**

【一般講演の注意】

- ・ 口頭発表は、質疑応答を含めて 15 分間です・終了時刻の 5 分前に 1 鈴、3 分前に 2 鈴、そして終了時に 3 鈴を鳴らします。時間厳守をお願いします。
- ・ 発表用パソコンを各自ご持参ください（プロジェクターへの出力端子は HDMI です）。
- ・ Apple 製品等、特殊な接続ケーブルが必要な場合は、各自でご持参ください。

- ・ ポスター用ボードのサイズは縦170cm×横110cmです。できるだけ発表日9:00までに指定の場所に掲示してください。ポスターは17:15までに回収してください。残っているポスターは実行委員会で破棄させていただきます。

【クローク及び休憩室】

準備しておりません。

【昼食等】

沖縄タイムスビル及び那覇商工会議所中小企業振興会館周辺には多数のレストラン及びコンビニエンスストアがあります。

【連絡先】

大会委員長： 竹村 明洋（琉球大学教授） takemura@sci.u-ryukyu.ac.jp

大会事務局： 池田 譲（琉球大学教授） ikeda@sci.u-ryukyu.ac.jp

琉球大学理学部海洋自然科学科生物系

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1

大会第1日目 11月29日(金)

口頭発表

*は学生の審査希望

**は若手研究者の審査希望

第1会場

(沖縄タイムスビル タイムスホール)

【口頭発表 会場1】 09:00～12:15 12題(沖縄の養殖事業、養成、生態)

[O-01] 09:00～09:15**

沖縄県伊平屋島におけるシロギス養殖技術の現状と課題(1)～親魚養成と採卵～

牛島和彦・木口啓介・冨田雄嗣・三吉浩美・我那覇文紀・倉橋彩子((株)クラハシ)・太田健吾・有瀧真人(福山大生命工)

[O-02] 09:15～09:30**

沖縄県伊平屋島におけるシロギス養殖技術の現状と課題(2)～種苗生産～

木口敬介・牛島和彦・冨田雄嗣・三吉浩美・我那覇文紀・倉橋彩子((株)クラハシ)・太田健吾・有瀧真人(福山大生命工)

[O-03] 09:30～09:45**

沖縄県伊平屋島におけるシロギス養殖技術の現状と課題(3)～養殖～

冨田雄嗣・木口啓介・牛島和彦・三吉浩美・我那覇文紀・倉橋彩子((株)クラハシ)・太田健吾・有瀧真人(福山大生命工)

[O-04] 09:45～10:00

シロギス養殖における至適光環境(色調)の検討

三吉浩美((株)クラハシ)・網田浩一(京セラ(株))・征矢野清(長大海セ)・○有瀧真人(福山大生命工)

[O-05] 10:00～10:15

塩分濃度がシラヒゲウニの生残・成長に及ぼす影響

岩崎隆志(水産機構技術研, 水産機構本部)・三田哲也(水産機構技術研, 国際農研)・富本かおり・鍵山智美(水産機構技術研)

[O-06] 10:15～10:30

天塩パンケ沼におけるヤマトシジミ中間育成の実用に向けて

河内 潤・中里享史・永田光博(道栽培公社)・長尾 渉(北るもい漁協)

休憩 10:30～10:45

[O-07*] 10:45～11:00

稚マダコ *Octopus sinensis* 育成時の開放型シェルターの有効性

鈴村優太（東海大海洋）・松原圭史・森井俊三・阿部正美（ホットランド）・グレドル・イアン（アイケフ）・西川正純（宮城大）・片山亜優・西谷豪（東北大）・由井颯希（東海大院海洋）・土屋亮太・稗圃幸司・角谷駿太・前野智也・秋山信彦（東海大海洋）

[O-08*] 11:00～11:15

高水温条件におけるマナマコの行動観察による夏眠開始サイズの検討

田中 海（東海大院総理工，東海大北地研）・平井 翔（東海大生物）・中川恵佑（東海大院生物）・徳野孔人（西村組）・櫻井 泉（東海大院生物）

[O-09] 11:15～11:30

摂餌活性を定量化してわかること

富永 修（福井県大海洋生物資源）

[O-10] 11:30～11:45

給餌支援システムを用いたクロマグロ稚魚の飼育

高志利宣・橋本 博・江場岳史（水産機構技術研）・宮野弘平・木村竜介・三田村圭介（KB デバイス）

[O-11] 11:45～12:00

淡水養成期におけるサクラマス0歳魚の初期サイズに依存した成長

山崎祐人・松尾周佳（北大院水）・高橋英佑・萩原聖士（北大フィールド科セセ飯）・高橋勇樹・米山和良（北大院水）

[O-12] 12:00～12:15

環境 DNA を用いた相模湾におけるアユ仔稚魚の分布推定

丹羽健太郎・白藤徳夫・鬼塚年弘（水産機構）

昼食休憩 12:15～14:15

【口頭発表 会場Ⅰ】 14:15～17:15 11題（親魚関係、魚病）

[O-13*] 14:15～14:30

Characteristics of spawning and changes in reproductive hormones with HCG administration in blacktip grouper

Patrick Mufwaya Ubial, Ryosuke Murata, Kiyoshi Soyano (Nagasaki Univ.)

[O-14] 14:30～14:45**

スジアラ人工授精における排卵誘発剤としての Pimozide と OHP の効果の検討

山口智史・三好花歩・藤倉佑治・風藤行紀・宇治督（水産機構技術研）

[O-15*] 14:45～15:00

マサバにおける精巣組織凍結法の開発と凍結精巣の筋内移植による配偶子生産
林 拓輝・八尋逸清・Tapas Chakraborty・松山倫也・太田耕平（九大院農）

[O-16*] 15:15～15:30

キアンコウの人工授精
石川智也・中屋光裕・江野脩太・高津哲也（北大院水）

休憩 15:30～15:45

[O-17*] 15:30～15:45

マサバメスにおける環境制御による早期初回成熟誘導法の開発
小澤佳奈（海洋大）・川村亘（熊大院）・矢澤良輔・森田哲朗・吉崎悟朗（海洋大）

[O-18*] 15:45～16:00

マアジ×カイワリ雑種量産に向けた代理親魚技法による機能的カイワリ精子の生産
原田将登・三輪美砂子・森田哲朗・吉崎悟朗（海洋大）

[O-19*] 16:00～16:15

三重県における三倍体マガキの成熟特性
安南帆起・林 美颯・古丸 明（三重大院）

[O-20] 16:15～16:30**

アムールチョウザメにおける排卵誘導適期推定の分子マーカーの同定
駿河谷諒平・東坂和樹・足立伸次・井尻成保（北大院水産）

[O-21*] 16:30～16:45

チョウザメ類の生殖腺形態的性分化および性分化関連遺伝子発現に及ぼすメチルテストステロン
処理の影響
東坂和樹・駿河谷諒平・山田康翼・足立伸次・井尻成保（北大院水産）

[O-22*] 16:45～17:00

海面養殖ニジマスにおける伝染性造血器壊死症（IHN）の発症リスクに関する研究 ―海水馴致の
影響―
片野珠生・相澤雄太・榛葉溪介・三室菜央・杉野御祐・安田秋太・井上孝太郎（日大生物資源）・
難波亜紀（日大短大三島）・柴崎康宏・間野伸宏（日大生物資源）

[O-23] 17:00～17:15

スジアラにおける滑走細菌症様疾病の原因菌推定およびqPCRによる定量系の構築
宇治 督・竹内宏行・藤倉佑治・山口智史・笹野祥愛・黒部智史（水産機構技術研）

第2会場

(那覇商工会議所 中小企業振興会館 2階ホール)

【口頭発表 会場2】09:00～12:15 12題(育種、栄養、生理活性物質)

[O-24] 09:00～09:15**

ヒラメ人工種苗で見られた眼位異常形質の遺伝様式
澤山英太郎・佐藤孔春・小池伶旺(日大生物資源)

[O-25*] 09:15～09:30

アルゼンチン チャスコムス湖産ペヘレイ *Odontesthes bonariensis* における遺伝型/表現型性と性転換のモニタリング調査
塩田 惇・R. S. Hattori(海洋大)・L. A. Miranda(サン・マルティン大)・D. C. Colautti(ラ・プラタ大)・G. E. Berasain(ブエノス・アイレス州立陸水研)・山本洋嗣・C. A. Strussman(海洋大)

[O-26] 09:30～09:45

異なる遺伝子型をもつマスノスケの海水適応能力の比較
木村克也・赤坂龍矢(北大院水)・石原 学・安部智貴(函館海洋機構)・高橋英佑(北大FSC)・西村俊哉・藤本貴史(北大院水)

[O-27] 09:45～10:00

代理親魚技法を用いた選抜育種による粗脂肪含有量の改善
矢澤良輔・齋藤亨一朗・森田哲朗・吉崎悟朗(海洋大)

[O-28] 10:00～10:15

キジハタ *Epinephelus akaara* におけるタンパク質要求に関する研究
荻原豪太(西松建設技研・福井県大院生資)・渡部奈緒子(西松建設技研)・佐藤秀一・細井公富(福井県大海洋生資)

[O-29*] 10:15～10:30

アスコルビン酸(AsA)およびペプチドグリカン(PG)経口投与がニジマス *Oncorhynchus mykiss* に及ぼす影響
菊地尚汰(日大生物資源)・松本誠司・齋藤祐介・鮫ヶ井靖雄(科学飼料研究所)・藤原涼輔・渡辺 慧・安齋 寛・柴崎康宏・間野伸宏(日大生物資源)

休憩 10:30～10:45

[O-30] 10:45～11:00

クロマグロの飼育成績に及ぼす飼餌料の影響
松成宏之・吉永葉月・篠田理仁・松本あかね・小出佑紀・浅野晃大・江場岳史・高志利宣(水産機構技術研)

[O-31] 11:00～11:15**

エゾバフンウニ種苗への各種海藻の給餌効果

後藤千佳（道栽水試）・川崎琢真（道栽水試）

[O-32] 11:15～11:30

配合飼料を用いたキタムラサキウニ養殖の事業性評価

川崎琢真・高原英生（道栽水試）・福田裕毅（中央水試）・瀬野修一郎（道工試）・清水健志・三上大輔（道工技セ）・渋谷風雅（㈱北三陸ファクトリー）・井戸篤史（㈱愛南リベラシオ）・浦和寛（北大院水）

[O-33*] 11:30～11:45

マダコ成体の人工飼料原料の検討

由井颯希（東海大院海洋）・松原圭史・森井俊三（ホットランド）・阿部正美（グルメイト）・グレドル・イアン（アイケフ）・西川正純・片山亜優（宮城大）・西谷豪（東北大）・土屋亮太・稗園幸司・前野智也・角谷駿太・鈴木優太・秋山信彦（東海大海洋）

[O-34] 11:45～12:00

チョウザメコラーゲンをを用いたバイオマテリアルの開発 ① チョウザメコラーゲンのポテンシャル

都木靖彰（北大水）・張 曦（華中農業大学・水産）

[O-35] 12:00～12:15

チョウザメコラーゲンをを用いたバイオマテリアルの開発 ② 石灰化I型コラーゲンコーティングの開発

生末 学（北大水）・東藤正浩（北大工）・都木靖彰（北大水）

昼食休憩 12:15～14:15

【口頭発表 会場2】 14:15～17:15 12題（種苗生産、微細藻）

[O-36*] 14:15～14:30

マツカワの摂餌開始期における摂餌日周性

江野脩太・中屋光裕・高津哲也（北大院水）・後藤千佳・松田泰平（道総研栽培水試）

[O-37*] 14:30～14:45

クロウミウマ *Hippocampus kuda* 稚魚の消化器系の発達過程

高橋将大（東海大院総理）・伊勢村明寛・秋山信彦（東海大海洋）

[O-38] 14:45～15:00

全面シャワー方式のヤイトハタに対する開鰓促進効果の条件検討について

藤倉佑治・山口智史・三好花歩・宇治督（水産機構技術研）

[O-39] 15:00～15:15

アイゴ仔魚飼育における初期摂餌成功に必要な飼育方法の検討

宮嶋暁（近大水研）・塗木凜・清水陸央・小野寺結人（近大農）・阿川泰夫（近大水研）・石田有里子・島村雅晴（RelationFish 株式会社）・澤田好史（近大水研、近大農）

[O-40*] 15:15～15:30

ペヘレイ仔魚における温度選好の季節性と性比への影響

山本千夏・山本洋嗣・Carlos A. Strüßmann（東京海洋大）

休憩 15:30～15:45

[O-41] 15:45～16:00

微細藻類 *Tisochrysis lutea* の細胞増殖および化学組成に光環境が及ぼす影響

松本 陽・石川 学・○小谷知也（鹿大水）

[O-42*] 16:00～16:15

浮遊揺動型フォトバイオリアクター(CRADLE)における *Haematococcus pluvialis* の生産性評価

佐野華秀・藤井正志（創価大院理工）・高山佳樹（横国大院）・戸松千秋（創価大プランクトン工学研究所）・戸田龍樹（創価大院理工，マレーシア・トレンガヌ大）

[O-43*] 16:15～16:30

難培養性微細藻類の大量培養に向けた土壌抽出液添加による増殖促進

林 香苗・Anupreet Kaur Chowdhary（創価大院理工）・関根 睦実（創価大プランクトン工学研究所）・戸田 龍樹（創価大院）

[O-44*] 16:30～16:45

数値流体解析による開放型微細藻類レースウェイポンドの攪拌性能の向上

井澤勇斗・Mfor E. Agborambang・藤井正志（創価大院理工）・戸田龍樹（創価大院理工，マレーシア・トレンガヌ大）

[O-45*] 16:45～17:00

省エネルギーな微細藻類生産に向けた浮遊揺動型フォトバイオリアクターの開発

藤井正志・佐野華秀（創価大院理工）・高山佳樹（横国大院環境情報）・戸松千秋（創価大プランクトン工学研）・戸田龍樹（創価大院理工，マレーシア・トレンガヌ大）

[O-46] 17:00～17:15

水産養殖産業から排出される有機性汚泥の微細藻類を利用した循環利用プロセスの構築と経済的インセンティブ創出の試み

戸田龍樹（創価大院，マレーシア・トレンガヌ大，JICA-JST SATREPS-COSMOS プロジェクト・チーム）

大会第1日目 11月29日(金)

ポスター発表

*は学生の審査希望

**は若手研究者の審査希望

沖縄タイムスビル タイムスギャラリー

[P-01*] 長崎県産アカハタのブランド化に向けた基盤研究

瀧 勇斗(長大水)・征矢野清(長大海セ)

[P-02] 北海道利尻島沖合に生息するホッケの肥満度

安 孝珍・須藤賢哉・森 健二(寒地土木研究所)

[P-03*] 東京湾におけるギンイソイワシ繁殖集団の年齢構成と性転換率

今井馨日・加藤裕介・佐藤凌介・片岡 丈・稲葉晃誠・Shi Kefan・Carlos Augusto Strussmann・山本洋嗣(海洋大)

[P-04] 環境DNAを用いた石垣島河川魚類叢の調査

奥津智之(国際農研)・橋本龍太郎・馬場 雅(日大生物資源)・前津雅英・波照間雄人(国際農研)・澤山英太郎(日大生物資源)

[P-05] 漁港構造物上への海底基質付加による魚類餌料生物の増加促進の試み

梶原瑠美子・白井さわこ・布川雅典・森 健二(寒地土研)・大橋正臣(東海大)・門谷 茂(北大)

[P-06*] 仙台市周辺の河川におけるイワナの遺伝的集団構造

笠原大輔(東北大院農)・石川直子・陶山佳久(東北大フィールド研セ)・中嶋正道(東北大院農)

[P-07]** 野外採集された浮遊期稚ダコの飼育による成長過程の観察と種同定の試み

川島 董(琉球大理)・峯水 亮(峯水写真事務所)・笹井隆秀(沖縄美ら島財団, 琉球大院理工)・杉本親要(慶應義塾大法)・池田譲(琉球大理)

[P-08] 北海道函館市沿岸で漁獲されたマスノスケの遺伝的集団構造

木村克也(北大院水)・石原 学・安部智貴(函館海洋機構)・池本恵祐・中村風歌・藤本貴史(北大院水)

[P-09] 噴火湾におけるトヤマエビの時空間分布

高津哲也・石川智也・松本涼太郎・江野脩太・中屋光裕(北大院水)

[P-10*] 沿岸性イカ類の産卵場所選択に関わる重要な環境要因の探索

平井蒼大(長大院水)・村田良介(長水海セ)・立石雅之(有川漁協)・川淵文俊(上五島漁協)・Gregory N. Nishihara(長水海セ)・征矢野清(長水海セ)

[P-11*] シロギスの不妊化誘導において有効な低温処理条件および観察方法の検討

石津和人（長大院水環）三吉浩美（(株)クラハシ）藤川稔晃（長大院水環）村田良介・征矢野清（長大海セ）

【P-12**】 グルクマ精子の運動能力に関する基礎的検討

越後 楓・金澤正悟・中村 將（沖縄美ら海水）

【P-13**】 クロメバル (*Sebastes ventricosus*) 雄尿タンパク質の性状解析

山口耀・天谷貴史・亀飼耕平・征矢野清（長大海セ）

【P-14**】 チョウザメ類の良質卵および不良卵における母性 mRNA の発現量比較

駿河谷諒平・中野玖里子・東坂和樹・足立伸次・井尻成保（北大院水産）

【P-15】 飼育下におけるシシャモ仔稚魚の発達

岡田のぞみ・長谷川竜也・松田泰平・志田修（道栽水試）・清水洋平（道中央水試）・中屋光裕（北大院水）

【P-16*】 ホンモロコ仔稚魚の無給餌生残日数に及ぼす飼育水塩分の影響

壁谷尚樹・石橋泰典（近大院農）

【P-17】 ニ枚貝類人工種苗生産に用いる資材の共通化の検討

川崎琢真（道栽水試）

【P-18*】 クルマエビ浮遊期幼生の日長条件が飼育成績に及ぼす影響

品原陽太郎・石橋泰典（近大院農）

【P-19】 「収穫槽飼育」を利用したブリ種苗生産の展望

篠田理仁・秋田一樹・中条太郎・野田勉・堀田卓朗・山崎英樹（水産機構水技研）

【P-20*】 アイゴ仔魚の鉛直方向の走光性の発育変化

塗木凜（近大院農）・宮嶋暁・阿川泰夫（近大水研）・澤田好史（近大院農、近大水研）

【P-21*】 水温がシシャモ稚魚の逃避行動反応に与える影響

河野祐太・武井幹人・久保田勇輝（日大生物資源）・岡田のぞみ（道栽水試）・牧口祐也（日大生物資源）

【P-22*】 魚類のプロジェクター光による行動制御法の開発-IX 赤色光を照射したアユ稚魚の行動に及ぼす数種条件の影響

青木政人・檜原由樹・石橋泰典（近大院農）

【P-23*】 魚類のプロジェクター光による行動制御法の開発-X スマ仔稚魚の発育に伴う対光行動の変化

都築星矢（近大院農）・井上遼太郎（近大農）・武田崇史（和歌山水試）・石橋泰典（近大院農、近大農）

【P-24*】 魚類のプロジェクター光による行動制御法の開発-XI スマ仔魚の初回摂餌および浮上死亡率に及ぼす数種光波長および明度の影響

都築星矢（近大院農）・井上遼太郎（近大農）・武田崇史（和歌山水試）・石橋泰典（近大院農、近大農）

【P-25*】 Natural Feeding Behavior of Paralarvae Oval Squid

Steven M. Southworth, Yuzuru Ikeda (University of the Ryukyus)

[P-26*] 4眼ステレオカメラを用いた高精度な魚群行動の計測

西川凜・佐々木勇人・米山和良（北大院水）

[P-27] 小型水槽におけるクルマエビの交尾行動

伏屋玲子・高田宜武（水産機構技術研）

[P-28*] 完全養殖マサバをモデルとした成長にエピジェネティクスが及ぼす影響の探索

上浦諒大・Mariel Galotta（九大院農）・長野直樹（宮崎大農）・Tapas Chakraborty・松山倫也・太田耕平（九大院農）

[P-29*] アユの縄張り形成性に関連する SNP の探索と選抜育種への応用

佐藤 渉（東北大院農）・山田 学（福島内水試）・中嶋正道（東北大院農）

[P-30*] 遺伝型/温度依存型性決定機構におけるペヘレイ amh 遺伝子の役割

直井嘉槻・Larissa M. de Vasconcelos・赤岡慶次・リカルド S. 服部・山本洋嗣・Carlos A. Strussmann（海洋大）

[P-31]** オキナワモズク品種改良に向けたゲノム科学的手法の開発

西辻光希（福井県大増養殖）・與那城由尚・須藤祐介（沖縄県水技）・西辻淑恵（福井県大増養殖）

[P-32*] グッピーにおける近親交配が行動特性に及ぼす影響

本田 蓮・中嶋正道（東北大院農学研究科）

大会第2日目 11月30日(土)

日本水産増殖学会シンポジウム

第1会場

(沖縄タイムスビル タイムスホール)

「養殖の未来を考える～環境保全型養殖と養殖を柱とした地域活性化～」

- 9:00-9:05 開催挨拶
竹村明洋(琉球大学)
- 9:05-9:20 日本の養殖の現状と課題
阪倉良孝(長崎大学)
- 9:20-9:35 琉球大学の取り組み「資源循環型共生社会実現に向けた農水一体型サステイナブル陸上養殖(仮題)」
COI-NEXT 琉球大学拠点 PL 竹村明洋(琉球大学)
- 9:35-9:55 話題1「沖縄産シラヒゲウニの復活を目指して～沖縄県と琉大 COI-NEXT の地域連携～」
平塚悠治(琉球大学)
- 9:55-10:10 長崎大学の取り組み「省力化・環境保全型養殖による水産再生：ながさき BLUE エコノミー」
COI-NEXT 長崎大学拠点 PL 征矢野清(長崎大学)
- 10:10-10:30 話題2「ハタ科魚類の養殖技術の高度化に向けた基盤研究～新しい養殖で地域活性化を目指す～」
村田良介(長崎大学)
- 10:30-10:55 総合討論「どう考える? これからの養殖」
①陸上養殖
②沖合を含めた未利用海域養殖
③養殖による地域活性化
- 10:55-11:00 閉会挨拶(総括)
征矢野清(長崎大学)

大会第2日目 11月30日(土)

高校生ポスター発表

沖縄タイムスビル タイムスギャラリー

[H-01] 親魚養成からのカワハギ種苗生産の試み

澤口謙志・谷下藍杜・小松大洋・下田澪（神奈川県立海洋科学高等学校）

[H-02] 厄介者を名護の産物へ～ジャンボタニシの養殖に向けた基礎調査～

新里奎弥・前川孔盟・大城孔明・宮城空良・仲井間蓮（名護高校）